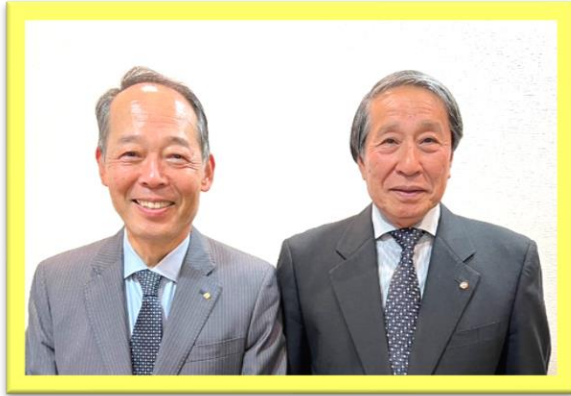




世界に希望を生み出そう

草加松原ロータリークラブ

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ 世界に希望を生み出そう



第553回 例会 12月12日 草加市文化会館

＊＊本日のプログラム ＊＊

開会点鐘	会長挨拶
君が代斉唱	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
ロータリーの目的	SAA報告
四つのテスト	出席報告
お客様紹介	閉会点鐘
クラブ総会 ・ 誕生祝	

11月28日の例会記録

- ◆ お客様 22770 地区財団奨学・平和フェロー・学友委員長 荒蒔 良和様
グローバル補助金奨学候補生 佐藤百合枝様
- ◆ 会長あいさつ 山崎秀美会長

皆さんこんばんは、今日はちょっとね、いいお話があるので、多くのメンバーが参加されていると思うのですが、少し狭いと思いますけれど、我慢していただきたいと思います。今日昼間、第2回目のゴルフがあったのですね、当クラブの、優勝者も来ています。下を向いていますけれど、後で紹介すると思います。今日は、財団関係の来年度、奨学金もらって留学して、世界に羽ばたいていく方の卓話を聴けるということで、楽しみにしております。私が学んだところ、ロータリーというのは、2つの団体、法人格なのですかね。2つの団体がありますよね。本体の国際ロータリーと、財団、その2つは別々の組織になっていまして、目的も違うわけです。ただ、国際ロータリーの目的のために、財団があるということで、「of RI」と書いてあるのです。「The Rotary Foundation of Rotary International」国際ロータリーのための財団ということなので、両方の団体が、相まってね、助け合って本来的に、ロータリーの目的を達成するという風なプログラムになっているようです。

私も、今年真面目に勉強させていただいていますので、ちょっとPRをさせていただきたい。国際ロータリーの使命は、なんだと思います。長い会員の方は知っていると思うのですが、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、職業人と、地域社会のリーダー、それがネットワークを組んで人々に奉仕して、高潔さを奨励し、世界理解、新善・平和を推進することになっています。

これが国際ロータリーの使命です。一方、財団の使命は、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善・平和を構築できるように支援することです。簡単に言うと、国際ロータリーの使命を、財団が色々な手段を提供して、健康を良くしたり、親善を深めたり、そういうことによって世界平和を作っていく！留学生も今、戦争をしているところもあるので、日本の能力のある若い方が、向こうの能力のある若い方とね、新善を深めることによって、未来の平和を勝ち取っていかなくては行けない、日本には優秀な人がいるというPRをしていただく使命がある。それを忘れないで頑張っていたきたいと思います。少し気になることがあって、国際ロータリーRIのプログラムは、ロータリアンの子弟が参加できるのです。交換留学生は、自分の子供もいける。ところが、ロータリー財団のプログラムは、ロータリアンの3親等以内の関係者は参加できません。となっています。どういことか、委員長さんが来ているので質問したのです。答えは後ほどお話していただけるということだと思います。

ロータリー財団は、ポリオプラス補助金、平和フェローが、財団のプログラムということで、私は平和フェローは、色々な世界の平和のために、例えば、医療、経済、政治家になる、政策を立案する、公務員になって、時代を担う国のシステムに入っていく、今後活躍する人材にお金を出す、最大4万ドルとの話だと思っていたのですが、少し違うのですよね！その違いは、後で説明していただければと思います。後で説明していただければと思います。平和のために働く、将来世界を1つになど色々な話も聞きたいなと思っています。よろしく願い致します。

国際ロータリー第2770地区第9グループ

草加松原ロータリークラブ

会長：山崎 秀美
幹事：会田小弥太

例会日：毎週火曜日 19:00~20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC : sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp



牛山信康プログラム委員長

プログラム委員長の牛山です。今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団のことを知ろうよ、という月です。プログラム委員会としては、今日、地区の財団関係の荒蒔さんと、佐藤友恵さんをお招きして、色々お話を聞こうということになりました。私たちロータリー財団へ、毎年1人200ドル。約3万円 寄付していますよね。それって何のためするのかな！そのお金はどう使われているのか！と思うではないですか！そういうことを皆さんによく理解し、こういう風に使っているのだな～という、お話が荒蒔さんから多分出ると思います。積極的にこれから100%以上を寄付するようにと、これがプログラムの意味であります。今日は、お二人の話を私もしていましたので、ぜひ皆さんも楽しみにお話を聞いて欲しいと思います。宜しくお願い致します。

佐藤百合枝さんは、クラブの一員！ロータリーファミリー！！

22770 地区財団奨学・平和フェロー・学友委員長 荒蒔 良和様

11月月はロータリー財団月間ということですが、今日のメインはあくまで、佐藤さんなのですが、お声掛けいただきありがとうございます。先ほどの会長の課税提起について一言だけ！ロータリー財団と国際ロータリーのお金の支払い方は、根本的に違います。国際ロータリーはある意味上納金のような感じ、人頭分担金という形になりますけれども、寄付ではなくて会費という形で、皆様1人1人が払っていただくのです。国際ロータリーの活動に対しては、ロータリーそのもの、ロータリアンそのものも参加していいのではということ、青少年交換留学などは、ロータリアンのお子さんでも参加できるという形になっています。お金を払っているのだから権利あるよね！そのような形とご理解いただければと思います。

ロータリー財団に出しているお金は、皆様の寄付、善意です。皆様の善意を自分たちのために使うのは良くないのではないかとこの観点の中で、ロータリアンの三親等離れていないとダメ！例えば、今日来ていらっしゃる佐藤さんが、私の娘だった場合は、奨学生にはなれない！お孫さんで二親等なので、ひ孫でもダメなのです。それくらいロータリー財団と国際ロータリーのお金の使い方は明確に分かれていると言う事をご理解いただきたいと思えます。

佐藤さんについて少しお話をさせていただきます。スポンサークラブは、越谷 RC さんです。この資料は、越谷さんで書いているところがあるのでご容赦いただければと思います。

佐藤さんは、クラブの親善大使という観点について、皆さんと共有をさせていただきたいと思えます。先日の地区大会で、全員でロータリーの目的を唱和いただいたと思えます。そのうちの4つ目、「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、新前平和を推進すること」この目的のために、我々のロータリアンは、世界的ネットワークを通じて、国際理解新前編を推進しておるのですが一方で、そうした我々の思いの委託者が佐藤百合枝さんをご理解いただければと思います。そのために、先ほどの皆様の寄付がという話に繋がってくるのですが、皆様に年次寄付という形で、毎年200ドル、あるいは、恒久基金(ベネファクター)という形で、ご寄付いただいているかと思うのですが、皆様の寄付は、佐藤さんのような方に対してチャンスを与える！そのような使い方をさせていただいています。それが3年後に皆様の寄付は、地区に戻ってまいります。財団活動資金と国際財団活動資金というのでも分かれて、地区に戻ってきたお金が、さらに、地区補助金とグローバル補助金という2つの補助金の要素に分かれます。このうち、佐藤さんの場合は、グローバル補助金の中の奨学金として、皆さんの寄付が奨学金の形に変えて戻ってくる。

佐藤さんには、これからお話をさせていただきますが、これまで習得した専門性というのをしっかりとお持ちの方です。これに皆様の寄付が加わって、佐藤さんが国際ロータリーの世界ネットワークを活用して新善平和を推進する。ちょっと表現は違うのですが、草加松原さんの活動を佐藤さんに、是非積極的に伝えて下さい。また来年度は、ぜひ草加松原さんもスポンサークラブにエントリーしていただければと思うのですが、クラブ、あるいはクラブの活動を佐藤さんなどの財団所奨学生に、目一杯伝えて下さい。

具体的には、例会、クラブの活動を佐藤さんも色々お忙しいと思えますので、可能な範囲で、来ていただいて、草加松原さんの活動を知っていただき、知らしめていただきたいです。なぜか！いずれ、佐藤さんは、財団奨学生として派遣されます。派遣先、留学先というのが1番の活動場所だと思うのですが、留学先で佐藤さんご自身、あるいは佐藤さんの専門性をアピールしていただく！発揮していただくのですが、それだけではなくて、派遣された相手側のスポンサークラブも付きます。その相手のスポンサークラブ、あるいは留学先の大学院、あるいは留学先の街で、佐藤さんの専門性だけでなく、日本文化を発信していただくような機会はあると思えます。その中にクラブ・クラブの活動を、発信していただくことで、草加松原さんの価値観、組織としての人となり、これも含まれてくるのではないかなと思えます。佐藤さんが平和の新善大使ということで、皆様の寄付が回り回って、皆様自身、あるいは皆様のクラブ、皆様のクラブの活動が相手のクラブ、国に伝わり、逆に佐藤さんを通じて、相手の国、あるいは相手の活動が、草加松原さんの方に反映され、お互いに平和新善のもとに繋がる。そういった使い方に皆様の寄付が変わっていくことを、ご理解いただければと思います。佐藤さんもクラブの一員、ロータリーファミリーというところで、改めてご理解いただければと思います。一部の方が盛り上がるという話ではなく、クラブ丸となつての佐藤さんのサポートを盛り上げたいと思えます。今日ここには越谷さんの話を書きましたけど、今年度山崎会長は、「ロータリー原点への回帰」というのを活動方針として挙げています。まさに、ロータリーの目的を達成するための財団奨学生、佐藤さんを、クラブ丸となつて、サポートいただくようお願いしたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

これまでの専門分野とこれからの研究テーマ

ロータリー財団奨学候補生 佐藤百合枝さん

皆さんこんばんは、今日話させていただきたいこと、私はデンマークのオーフス大学で勉強したいと考えているのですが、1月15日までに応募書類を提出し、4月頃に合否が分かります。合格しましたら、9月から留学と！

今日は、今までの私の専門分野や経験、私の思い、それからこれから研究したいことについてお話をさせていただきます。

私は、小さい頃から環境問題に関心がありまして、全ての生き物！人間も含めて、苦しむことがないように幸せに生きてほしいという思いを持っていて、小学校で「子どもエコクラブ」に参加して、地域の環境保護活動に参加したり、世界の環境問題について勉強しておりました。大学では、日本の大学で3年間とアメリカの大学で1年間経済学を専攻しまして、主に環境経済学と開発経済学という途上国の問題について勉強致しました。

大学の時に勉強しているだけでは社会の役に立たないので、実際の経験を積むことも大切だなと考えまして、アジア女子大学というバングラデシュにあり、女性を支援する大学なのですが、そこを支援する財団がボストンにありまして、そこでインターンをしておりました。大学を卒業してからの職歴と、色々なことをしてきたのですが、まず、ジャイカの青年海外協力体系プログラムで、フィリピンのミンドロ島という、こちらに写真があるルソン島の、南にあるとても小さな島で、農業の普及と成型工場支援のプログラミングに参加いたしました。この島では、まだ狩猟採取をして生活している方もいらっしゃるようなところで、水道や電気がないところだったので、井戸水で生活をし、電気がないので、朝お日様が上がったら起きて、暗くなったら寝るといっても貴重な生活を体験させていただきました。ここでの経験を踏まえて、なかなか政府の開発援助だったり、NPO、NGOのプログラムというのはたくさん費用をかけていたり、長い間活動支援を行っていても、なかなか受益者の方たち、実際の農民の方たちの生活が改善されていない状況を見まして、帰国してからはと、もっと活動の成果の部分にフォーカスを置いている民間セクター、企業でサステナビリティ世界を良くするための活動がしたいと考え、民間セクターで活動をものにしてまいりました。

最初は、コンサルとして、企業のサステナビリティの戦略の策定や取り組みの推進や情報開示の支援、それから、社会的な取り組みというのはなかなか数値化しにくくて、なかなかお金が入りにくかったり、なかなか成果のある活動にならないところが問題のため、明治大学では2016年頃から、社会的な取り組みを数値化して可視化することでプロジェクトマネジメントや意思決定をしやすくする、社会的な取り組みにもっとお金が入りやすくなるために研究が行われていて、そこで教員、研究員としてアメリカやイギリスでその研究が進んでいる分野なので、アメリカやイギリスで調査を行って、その報告書を日本の政府に提出する取り組みを推進するというような活動を行ってまいりました。

2019年からはNECという企業に転職致しまして、経営企画部門という所にサステナビリティ戦略企画室という社会や環境のための戦略を立案して取り組みを進めていく。社会や環境のための取り組みを、戦略を立案して取り組みを進めていく部門がありまして、そこで人権の尊重を進めるという取り組みを行っています。というのも、今まで企業は、株主や投資家への財務的な還元のために、有価証券報告書で、財務的な数値だけ開示していれば、法律としてはOKだったのですが、これからは非財務と呼ばれる社会や環境に関するデータも開示していただければいけないという法律がこれからできる予定、というのも今、その知性学リスクもありますし、環境リスクなど色々な問題がある中で、企業はこれからはちゃんと存在して価値を喪失し続けていくためには、社会や環境、人権などへの取り組みが不可欠であるので、その内容を、どんなことをしているかというのをしっかり開示していく必要があるという背景から、このような部門が今、日本の企業でも増えてきております。

今までの研究テーマの例をこちらに挙げておまして、企業活力研究所というところで、こちらは、経産省や外務省、それから日本の主な企業や投資機関、研究機関で構成されている研究会なのですが、こちらでと、先ほど申し上げました財務情報だけではなくて、社会や人権と環境に関する取り組みの情報開示のあり方に関する調査研究や今、なぜ企業が人権に取り組むべきかというような調査報告書を共同執筆いたしました。

研究者の研究活動としましては、先ほど申し上げました、社会的な投資や社会的な企業に関する国際比較研究を19年まで行いました。それから、国連は、グローバルコンパクトという企業が腐敗防止や環境の取り組みや人権や労働に取り組むための分科会というニシャチュブ、取り組みがございまして、世界中の企業が参加していて、日本も200社以上が参加しているのですが、その人権デュー・ディリジェンスという分科会で、日本企業の人権取り組みを推進してまいりました。このビジネスと人権というのが少し分かりにくいのですが、具体的にはどのような業務を現職でしているかというのを簡単にご説明させていただきますと、まず企業が人権に対してどのような取り組みをするかという方針を作ることが求められております。

人権リスクというのが一体どんなものがあるかという点なのですが、例えば私が今働いている会社では、サプライチェーンの末端で、例えば途上国で強制労働や児童労働が発生していないかという労働者の人権ということや、それから、AI、生成AIなどで差別などが起きないかというところ、技術と人権というところ、それから、自社でハラスメントがなかなか日本でなくならないということが国際的にも批判されているのですが、ハラスメントの予防、防止ですとか、それから知性学的リスクが高まっている中で企業活動がそれを助長するようなことがないかというところ、この4つについて今取り組んでおります。これを進めるには、人事部門、法務部門、調達部門、それから事業部門などと、様々な部門の方たちに人権についてまず学んでいただいて各業務にどのように関係しているかという理解していただき、活動の目標を立てていただいて、それをその私が所属しているサステナビリティ戦略企画室がモニタリングを行ってと、社会にその情報を開示するというような取り組みを回しております。

もし人権侵害が発生してしまった場合には、税制苦情処理メカニズムという、通報制度というところだと、被害者の

方から何か声が上がってきた時にきちんと対応ができて、それを是正できるような仕組みを作って置くということが求められています。この取り組みが、国連のビジネスと人権に関する指導原則という原則を基に、全ての企業が取り組んでいくことが求められているのですが、それはあくまで原則なので、何をどこまでやったら良いという明確な基準がございませんで、チェックリストもないため、なかなか、どこの企業も模索しながら今取り組んでいるのですが、重要なのが、1番下にあるステークホルダーエンゲージメントというところで、NPOやNGO、それから労働組合だったり、国際機関、地域の住民の方々など、自分たちが影響をもたらす可能性がある人々と常に対話をしながら、侵害が起きていないか、どのような問題を要望するべきかということを考えながら、目標を立てて自分たちで、指標を作って取り組んでいくということが求められています。

私がこれから大学院で研究したいと考えているのが、人権、人間の安全保障という視点でのビジネスと人権というものです。安全保障というのはよく国家の安全保障という文脈で使われる言葉なのですが、人間の安全保障というのが、「UNDP」という国連の開発計画という機関が作った表現なのですが、どこの国にいるかというのは関係なく、全ての人々が恐怖や欠乏から解放されて、生きていける、自分の可能性を実現させることができる社会を作るという意味の言葉になります。

ロータリーの重点分野と関わっているこの2点について今後勉強したいと考えているのですが、紛争ハイリスク地域における企業の責任ある事業活動展開というのがまず1つ目にございます。これは、なかなか新しいアプローチでして、まだ研究が進んでおらず、2年前に国連がやっとガイダンスを出したのですが、まだ事例もアプローチも事例も不十分で、アプローチも確立していないところなので、これについて研究をして、企業の取り組みを推進したいと考えております。

例えば、ミャンマーが軍事政権下に突然置かれてしまった時に、私が今働いているようなICT企業の技術が政府に間違った使われ方をされてしまうと、罪のない民間人の方だったり、人権活動家の方が逮捕されてしまう、それから防護されてしまったりするというようなことを防ぐために企業がそういうことが起こらないように政府に働きかけるといったようなことが、影響力の行使の1つにあります。その時に、1社ではとても難しいので、国際的に、外国の政府や、複数の企業で一緒になって、政府に働きかけていくということが求められています。

働きかけても、なかなか政府が、人権侵害をどうしても起こしてしまうような場合には、その企業が、撤退、その国から撤退するというところで、影響力を行使するというのも、アプローチの1つにあります。そうした場合には、人権を侵害してしまうような企業に、事業が売却されないことがないように、新しく事業をその国で行う企業に人権方針がしっかりあるか、それから契約書に人権に関する項目が入っているかなどを確認することが求められています。ですが、これがとまた新しい取り組みで、海外の先進企業でも、なかなかその契約書と効力のある契約書の内容などがどのようなものかといった議論が始まったばかりなので、取り組みが進んでいる欧州で研究をすることで、アプローチを考えていきたいと考えております。

2つ目が特に脆弱な立場にある方々の、SDGsで掲げられているディセントワークという働きがいのある人間らしい仕事を実現するという点について研究したいと考えています。これが特に難しいのが、移民労働者の方やサプライチェーンの末端途上国で鉱物の採掘をされていたり、工場で働いているような方々がしっかりと作業に見合ったお給料がもらえて、強制的に働かせることのないように、それからしっかりと安全な環境で働けるような環境を作るということになります。この分野は、今欧州でこの取り組みを法規制として企業に義務化させるという動きが始まっているのですが、なかなかこの法規制が具体的な指標がなく、取り組みが要請されるということになっていて、企業の現場が今混乱しております。しっかりと指標がないと、その労働者が本当に守られるような法規制にならないので、これも欧州企業の取り組みを研究しながら、具体的な指標は、どういうものであるべきかということについて研究したいと考えております。

私が勉強したいと考えているデンマークには、ビジネスと人権に関する研究所として「世界をリードするデンマークのビジネスと人権研究所」というところがありまして、卒業後就職したいと考えておりまして、そのために、オーストリアで「人間、人間の安全保障」を勉強したいと考えております。

最後に国際理解への貢献というところで、これもロータリーから求められていることなのですが、課題認識として、人権というのは国際的に認められている重要な権利なのですが、欧米では小学校で人権について、皆さん学ばれるので、ここに挙げて、安全に対する権利ですとか、最低限の生活を送る権利、移動する権利など様々なものがあるのですが、こういうようなものが社会で理解されているのですが、日本ではそれに対する理解がなかなか進んでいないという問題がございます。

今年の7月から8月にかけて国連の人権専門家集団作業部会が日本に訪問されまして、報告書が発行されて、メディアではジャニーズの件で、とても大きな問題になって注目されていたのですが、実際にこの作業部会の方とお話をしてみたり、報告書を読んでみますと、原発、福島原発で強制労働が行われていたり、それから東南アジアから来て働いてくださっている技能実習生の方たちが十分なお給料をもらうことができずに強制労働をさせられて、国にもう帰れないような状況になってしまっているというような、もっと深刻な課題も指摘されていまして、そのような課題に注目がいかないのが、なかなか人権というものへの関心が低いというのが原因の1つにあると考えております。私は研究を行うだけではなくて、このような場や人権に関する分科会などで、このようなお話をさせていただくことで、日本における人権の理解を深めることで国際理解への貢献をしたいと考えております。

私のお話、以上になります。ご清聴ありがとうございます。



クリスマス例会について

加藤芳隆親睦委員長

皆さんこんばんは、いよいよ、まだそんな気分じゃないですけど、クリスマス例会ということで、12月4日の月曜日、集合が4時30分獨協大学駅の西口、セブンイレブン前にバスが来ます。出発は4時45分ということです。よろしくお願ひいたします。会費は、今日お支払いいただくと事務局で大変助かりますので、よろしくお願ひします。プレゼント交換をしますので、皆さん、ご家族の方、1人1個、¥1,500程度のものをよろしくお願ひします。以上でございます。

米山感謝の集い

12月9日(土) 川口フレンジア

国際ロータリー第2770地区2023～2024年度

山記念奨学部門感謝の集



幹事報告

会田小弥太幹事

こんばんは、今日は、幹事報告は特にございません。今日、ゴルフがありまして、優勝は木村会員ですが、因みに準優勝は私でした。

今後のプログラム

12/19 卓話 二階堂祐司会員 今様本陣
 12/26 1/2 休会
 1/9 新年例会 今様本陣



11月28日 ニコニコBOX

金額	20,000円	累計	422,000円
11月28日 出席報告			
会員総数	34	出席	16
出席免除	3	MU	2
出席適用	31	出席率	58.06
ZOOM参加者	来栖勝幸会員		
米山奨学生	魏 莎莎さん		
12月4日 出席報告			
会員総数	34	出席	22
出席免除	2	MU	2
出席適用	32	出席率	75.00

荒蒔 良和様 草加松原ロータリークラブの皆様こんばんは、本日はよろしくお願ひ致します。
 山崎 秀美会長 地区財団関係委員長の荒蒔良和様、財団奨学生予定者の佐藤百合枝様卓話楽しみです。少々質問らしきものもあるかも！
 会田小弥太幹事 財団平和フェロー学友委員長荒蒔良和様、グローバル補助金奨学候補生佐藤百合枝様卓話よろしくお願ひ致します。
 牛山 信康会員 去る11月23日我が息子の結婚式がありました。新郎新婦が着飾って若いカップルの門出に相応しい雰囲気でお祝いして一安心した所です。
 加藤 芳隆会員 荒蒔良和様、佐藤百合枝様卓話ありがとうございます。
 木村 博行会員 今日ゴルフコンペお疲れ様でした。親睦副委員長安田さん準備ありがとうございました。財団平和フェロー学友委員長荒蒔様、佐藤様ようこそ、卓話楽しみです。
 北畠 文康会員 本日はショートホールでバディを取りました。荒蒔良和様、佐藤百合枝様卓話ありがとうございます。
 篠宮 時雄会員 今日ゴルフに参加しました。暖かな天気、スコアは大雨でした。
 田中 和郎会員 今日小春日和のいい天気でした。ゴルフコンペに参加された皆様、楽しめましたか！
 二階堂祐司会員 日曜日娘が結婚いたしました。娘の結婚は泣けます。荒蒔良和様、佐藤百合枝様卓話楽しみです。
 長谷部健一会員 地区財団奨学フェロー学友委員会委員長の荒蒔良和様、グローバル補助金候補生佐藤百合枝様卓話よろしくお願ひ致します。
 安田 洋介会員 荒蒔良和様、佐藤百合枝様よろしくお願ひ致します。
 黒川 和彦会員 会員の皆様、ゴルフコンペお疲れ様でした。次回こそ優勝したいと思います。
 渡辺 直之会員 荒蒔良和様、佐藤百合枝さん卓話ありがとうございます。



クリスマス例会

12月4日(月) 第552回例会
パレスホテル東京 萩

